

NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第116号

通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2013年7月26日発行 46,370部

ママたちの チャレンジ

2013年1月から2月に実施した
講座の受講者のママたちが、
東部子育てセンターでの親子教室で
大活躍してくださいました。



みなさんはもともと、「いろんなことを学習し、吸収していき
たい」という動機で受講してくださいました。

この講座はあっとわんがいつも伝えている「子育て支援の基
本的な考えが満載！」なのです。子どもたちの成長や発達を
応援するために必要な考え方として、「感覚統合理論」と「応用
行動分析」の考え方を講座の中で学んでいきました。子どもた
ちを育むことや、お母さんたちを応援するために大切なこと
が、ここには詰まっているのです。この講座で特に強調してお
伝えしていることは、「客観的ものごとを見ること」「自分の価
値観で人を判断しない」「行動を見ていくこと」です。

講座を受ける中で、いろんな発見や、自分の考え方、捉え方…
などなどに気づきがありました。子育て支援の中で「ぜひ実践し
たい！」という想いが、受講者の方々に沸々と湧いてきたよう
です。

東部子育てセンターで実施している親子教室に携わること
で、子どもとの関わりを実践していくことで、より理解してい
ただけるのではないかと、支援者として参加いただきました。

あっとわんが、親子教室で大切にしていることを事前にお伝
えし、毎回親子教室が終わってからの振り返りも実施しなが
ら、子育て支援の支援者として、スキルを学んでいただけたと
思います。

★子育て支援の現場では、さまざまな取り組みが行われています。あっとわんでは、お母さんやお子さんたちを、多角的多面的に見ながら関わらせていただく親子教室を行っています。日々の生活で見ているお子さんの様子だけではなく、親子教室で週に1回で4週通っていただく中で見えるお子さんの様子などに気づいたり、見ていただけると、お母さんの気持ちもほぐれてくることがあります。機会があれば、親子教室もご参加下さいね。

みなさんの感想を 一部抜粋します



今回の講座で感覚統合と応用行動分析を織り交ぜながら考え、支援していく方法に初めて出会い、そして支援の上で一番重要な客観的に人を見るという考え方を学び、今までの「なぜ？」が払拭されたような気がしました。講座で得たことによって、私を含め受講された方はやはり今度は「実践してみたい」という気持ちになりました。



作業する時に先生がお母さんたちに、できるということだけが目的ではなく、それぞれに個性があるとお伝えることで、一番安心したのは、私だったような気がします。子どもたちが大きくなった今は、その言葉にしみじみ納得してしまいました。今回のような講座に参加することで、ひとりでも多くのお母さんが安心して子どもと向かい合ってくれたらいいなあと思いました。毎回、皆さんと振り返りの時間を持つことで、いろいろな視点での見方ができたり、先生からのアドバイスもありがたく、楽しい学びの場となりました。

あっとわんの Facebook ページができました！

<http://www.facebook.com/npoatone>

いいね！
してね！

あっとわんのホームページが新しくなりました！

<http://npo-atone.jimdo.com>

あっとわん春秋

講座から実践につながる流れでのママたちのチャレンジは、「学び」と「知識」の大切さを実感しました。講座の自身で「客観的に人や出来事を見る事」について一番お伝えしたように思います。人はどうしても自分の価値観で捉えてしまいがちです。その価値観にあてはめて判断することがあります。この価値観を外していくために必要だと考えているのが、「感覚統合理論」と「応用行動分析」の考え方になっていきます。これらの知識は、人と関わっていく時にとても大きな役割を担っているように思います。また、今まで知らなかったからこそ、辛くて苦しい思いをしていることでもあると思います。▼その他、さまざまな「知識」は自分の身を助けてくれることもたくさんあります。今は関係ないと思っていることも、「知識」として知っているのと役立つことがあります。そして、何より「自分自身が安心できる」ものになります。▼そんなことも、他人事だと決めつけなくて、少し意識をしておくことであってなくても良くなります。他人事だと思わないうということも、自分の価値観が大きく関わっていることになるのです。▼ただ、「情報収集」と「知識を得る」とは少し違いますので、気を付けましょ

かわのゆみこ